



がっこう
学校だより



がっこうきょういくもくひょう
【学校教育目標】

みづか まな たか
自ら学び、高めあい

よりよく生きようとする

こどもの育成

さくらじま

れいわ ねん がつ にち
令和7年7月17日 NO. 6

4年 EC02プロジェクト 7/2 (水) 7/3 (木)

EC02プロジェクトとは、鈴鹿市役所環境政策課が毎年6校程度の学校を対象に行っている授業です。「EC02」とは、自然環境保全を意味する「EC0」と二酸化炭素「C02」を合わせているそうです。授業では、環境政策課の真弓さん、三重県地球温暖化防止活動センターの落合さんと吉田さんのお話を聞いて、ごみの分別の大切さについて考えました。

鈴鹿市のごみ処理には、年間で30億円ほどかかっているそうです。費用の問題ばかりではなく、例えば牛乳パックを燃やせるごみにしたら地球温暖化につながりますが、資源ごみとしてリサイクルすればトイレトーパー等として利用できます。SDGsの視点からも、ごみの分別にすべての家庭が取り組んでいく大切さを感じました。



水泳の授業

約4週間、水泳の授業を行ってきました。1・2年生は小プールで、3年生からは大プールで学習しました。学習領域としては、1・2年生は「水遊び」で水に慣れる遊びを中心に、浮いたりもぐったりする遊びにも取り組みました。3・4年生になると「浮く・泳ぐ運動」となり、体の力を抜いて浮く感覚を覚え、泳ぐ運動に発展させていきます。5・6年生はいよいよ「水泳」となり、クロール等の泳ぎ方を覚え、泳ぐ距離を伸ばすことを目指していきます。どの学年のこどもも、授業を重ねるたびに少しずつ上達が見られ、こどもたちの「できた!」という嬉しそうな声が響いていました。

年々暑くなり、水泳においても、こどもたちの熱中症への心配が増すばかりです。事前に状況に応じた対応を全職員で申し合わせ、暑さ指数や水温等の把握をこまめに行い、必要な措置を取りました。暑さ指数が高いときには、更衣場所をエアコンのある教室に変えたり、見学児童をプールサイドから図書室に移動させたりしました。保護者の皆様には食事や睡眠の管理、朝の体温測定やカードへの記入等、ご協力いただきありがとうございました。

ねん ちゃくいえいこうしゅうかい 6年 着衣泳講習会 7/11 (金) きん

着衣泳講習会は、衣服を着た状態で溺れたときに、浮いて救助を待つための「背浮き」の仕方を学ぶものです。

鈴鹿市消防本部の方から、もしも誤って池などに落ちてしまったときに大事なことから、次の5点を教えていただきました。①浮いて待つ ②水の中に助けに入らない ③浮くものを投げ入れる ④早い119番通報 ⑤大人を呼ぶ

長袖、長ズボンなどの衣服と靴を身に付けたまま水に入り、あおむけで水に浮く「背浮き」や水面に投げられた空のペットボトルを背浮きの状態で抱える練習などをしました。最初は怖くて体に力が入ってしまい、うまく浮けなかった子もいましたが、〈腰を曲げない〉〈顎を引かない〉などのコツがわかってくると、「いつまでも浮いていられる。」と言いはじめました。この経験により、慌ててバタバタとするのではなく、「落ち着いて浮いて待つ」ことを思い出してほしいと思います。



ねん しょくいく 2年 食育 6/11(水) すい 6/13(金) きん 7/4(金) きん

栄養教諭が各学年、年間2回程、食育の授業を行います。2年生は「野菜のひみつを知ろう」の授業でした。今が旬の夏野菜について、クイズを取り入れながら花や種などにも目を向けさせ、野菜に興味をもたせていきました。今、生活科の授業で大事に野菜を育てているこどもたちなので、野菜のことをとてもよく知っていて、終始、意欲的に授業に臨んでいました。

野菜のもつパワーを学習した後、「今の体は今まで食べてきたものでできており、これからの体はこれから食べるもので決まる」という話がありました。バランスよく食べて元気な体にするか、偏食で弱い体にするかは自分次第。今日の授業を受けて、好き嫌いを減らそうとがんばってくれると嬉しいです。



ねん こうりゅうかい 4年 タイピング交流会 7/15 (火) か

オンラインで稲生小学校の4年生とつないでタイピング交流会を実施しました。交流会に向けてタイピングの力を高めようとコツコツと練習することで、非認知能力の一つでもある「やりぬく力」を育てることや、情報の活用能力の向上につなげることをねらって行いました。

各クラスの代表者が「自己ベストを出したいです。」などの意気込みを述べて始まり各校交代で2回ずつ挑戦しました。素晴らしい集中力でした。また、稲生小が挑戦している時には、「稲生小がんばれ」と声をかける素敵な姿も見られました。最後にはまた各クラスの代表者が感想を述べ、「難しかったけど楽しかったので、またやりたいです。」などと、充実した笑顔を見せていました。

